

# セ ン チ ュ リ ー CENTURY

■地域を育む人と企業 ■地域で活躍する職人たち

■Dr. 訪問 地域医療に貢献する

■時代と人をつなぐ スペシャリスト

■美食探訪 一度行きたいお世のの逸品

■心のふるさと 社きめぐり

■巻頭特集

ICTと地域活性化

1

2014

VOL.202

アイシン精機株式会社 取締役社長 藤森 文雄



代表取締役

## 田野 仁志

たのひとし

東京都出身。大学卒業後は一般企業に入社するが、より自分らしい生き方を求めて退職する。そして元来、スポーツに動かし、サイクリングも好きだったことから、自転車関連事業に興味を抱いた。10坪ほどの店を開いて、事業をスタート。以降、自転車専門店として自転車の楽しさを伝えるべく、毎年ツーリングを開催するなどしてお客様と交流を図っている。

### 株式会社 TRY360

#### CYCLE HOUSE GIRO

千葉県千葉市美浜区稲毛海岸 3-1-30  
TEL 043-239-7370  
FAX 043-242-6100  
URL: <http://www.cyclehouse-giro.jp>



**加納** こちらは自転車専門店と伺っていますが、学校も開校されていると。田野 はい。自転車に乗ることをより多くの方に楽しんでもらいたいという思いで、学校のイベントを催しているんです。自転車の構造や扱い方、正しい乗り方を知らなければ怪我や事故につながりますので、初心者向けの自転車学校を週末に開いています。自転車は健康のためのトレーニングにも効果的で、年齢を重ねることに落ちる基礎代謝を改善したり、メタボリックシンドロームの予防にも良いとされています。自転車を楽しみながら健康に過ごせるよう、皆さんと身体を動かしていますよ。お客様の中にはお母様の風量に成功した方がいらつしや

いますし、お陰様で私も遊園地を遊ばれましたが、学生時代から体格は変わっていません。**加納** いいですねー。社長の健康的なお姿が何より説得力があります。田野 ありがとうございます。自転車の販売においては、乗る人の身体に合わせてポジションを調整するなどを提供しています。イベントや学校の運営もある中、ノウハウも時間も限りますが、信頼できる仲間が揃っているお陰で実現できていますね。**加納** イベントにはどういったものが。田野 社名でもある「TRY360」といって、2013年で240日間の開業で、ペダルをこぎ続けられればゴールという目標に到達できるこ

# 自転車で風を切って走る楽しさ、そして新しい価値観を伝えたい

ロード・トライアスロン・通勤・ツーリングなどのためのスポーツサイクル専門店である「CYCLE HOUSE GIRO」。同店を経営する田野社長は、自転車の販売・メンテナンスに留まらず、初心者向け自転車学校の開校や自転車を楽しむイベントも催す。本日は、加納竜氏がそんな社長にお話を伺った。

とを体感し、達成感を感じていただけると思っていますよ。2013年は30名が参加して下さり、中には帰国客加して下さる意気込みもいまして、当初は高校生だった人が結婚して子どもを持ち、親子で参加してくれたり、人生を共に歩んでいるようまで嬉しかったですね。ツーリングに参加するために体重をコントロールしたり、身体づくりに励んだりする。ともまた、健康に暮らせる一つの秘訣となればと思います。皆さん、道路の斜度などに応じて感覚的にギアを使い分けたりと、ロードレーサーの乗り方も教えています。**加納** 自転車を楽しんでおられることが伝わってきます。田野 自転車の楽しさを伝えることが、私が事業を手掛ける第一の目的なんです。自転車を売ることが当社の目的ではありません。人生をより豊かにするために、生活の中にスポーツサイクルを取り入れていただきたい。女性にも風を切って走る楽しさを届けてもらいたくて女子大会も立ち上げました。自転車を気軽に楽しんでもらえる工夫を続け、「速に走りながら、健康的な身体づくりのお手はいつもしていきたいですね」

とを体感し、達成感を感じていただけると思っていますよ。2013年は30名が参加して下さり、中には帰国客加して下さる意気込みもいまして、当初は高校生だった人が結婚して子どもを持ち、親子で参加してくれたり、人生を共に歩んでいるようまで嬉しかったですね。ツーリングに参加するために体重をコントロールしたり、身体づくりに励んだりする。ともまた、健康に暮らせる一つの秘訣となればと思います。皆さん、道路の斜度などに応じて感覚的にギアを使い分けたりと、ロードレーサーの乗り方も教えています。**加納** 自転車を楽しんでおられることが伝わってきます。



ゲストインタビュアー

### 加納 竜

「自転車を移動手段だと考えている人には、田野社長のお話はとても新鮮だと思います。私自身、価値観を覆されました。乗ることを楽しむ——そんな新しい考え方が、今、浸透してきているようです。今後はメタボリックシンドロームに悩む方を対象とした取り組みも考えておられるそうで、楽しみです！」